

葵トリオー3人で奏でるシンフォニー

つくばリサイタルシリーズ実行委員会
大脇実紗 長田大器 広瀬実咲 加藤千尋
関珠暖 為永結子 上村来望

1. つくばリサイタルシリーズ実行委員会について

つくばリサイタルシリーズ実行委員会は、つくば市においてプロの演奏家を招聘し、クラシックコンサートをプロデュースする筑波大学の学生団体である。つくばの学生および市民が経済的に大きな負担を伴わず、本物のクラシック音楽に触れる機会を提供することを目的としており、2021年で10周年を迎えた。通常プロの演奏を聴くためには、高額なチケットを購入する必要があるが、会場が東京などの大都市に限られていたりするため、クラシックに対して親しみにくい印象を抱く人も多い。その意識を変えるため、つくば市民にとって身近な場所で、手頃な価格でクラシックを楽しむことを目指した本シリーズの基本方針は、例年のアンケート結果を通じて来場された皆様からも高い評価を受けている。企業協賛やクラウド・ファンディングといった手段により資金を確保し、可能な限り低価格かつ高品質な演奏会を実現できている。

2. 事業の概要

事業名：第13回つくばリサイタルシリーズ「葵トリオー3人で奏でるシンフォニー」

実施日：2023年5月21日

場 所：つくばカピオホール

価 格：一般1,500円 学生無料(要申込)

出 演：葵トリオ

曲 目：ベートーヴェン/ピアノ三重奏曲第3番 ハ短調 Op.1-3

江藤光紀/風変りなスケッチブックーピアノ・トリオのための(2023・初演)

ラフマニノフ/ピアノ三重奏曲第2番 ニ短調 Op.9

ドビュッシー/ピアノ三重奏曲

3. 当日の様子



リハーサル



受付



演奏①



演奏②



演奏③



客席



全体写真

4. 活動の達成度

4-1 演奏会の趣旨について

第13回つくばリサイタルシリーズでは、世界で最も権威のある音楽コンクールの一つとして知られるミュンヘン国際音楽コンクールで優勝し、その後も活躍の幅を広げているピアノ三重奏団「葵トリオ」をお招きし、演奏会を行った。

「葵トリオ」は、お三方ともがクラシックの第一線で活躍され、国内外で高い評価を受けているが、こうしたプロの演奏家のコンサートをつくばの地で、手頃な値段で実現することができ、「学生や地域の方々に一流の音楽を気軽に楽しんでいただく」という本シリーズの目標を体現するような演奏会になったのではないかと感じている。

4-2 広報について

今回の演奏会では、第12回つくばリサイタルシリーズの公演時から広報活動及びチケット販売を開始できたことにより、今までに比べてより一層継続的なファン獲得への活動を行うことができた。また、コロナ禍においてなかなか活発に行うことのできなかつた演奏者への事前インタビュー及び練習見学も再開することができ、これは各SNSにおける広報のコンテンツの多様さにもつながった。

Twitter, Instagram等では、出演者の葵トリオさんが前向きに関わってくださったこともあり、フォローやメンション、リアクションなど前回あまり実現できなかったSNS上の関わりのある広報活動も行うことができたといえる。前回課題であったInstagramの運用方法については、演奏動画やメッセージ動画を作成し投稿することができたため、より魅力の伝わるコンテンツを揃えることが概ね達成されたといえるのではないかと感じる。加えて比較的頻度

の高いストーリー投稿も行い随時チケットの動向やブログ作成報告などが発信できたことは、演奏会に向けて活動的な姿をお伝えすることにつながったと考える。一方で、通常の投稿数はまだまだ少ないため、活動の様子などが伝わる写真はこれからも意識的に投稿し、魅力を継続的に発信していけるよう努力が必要である。

そのほかの広報活動としては、毎回お世話になっている茨城放送やラヂオつくばのメディア出演、また他コンサートにおけるチラシの挟み込み等に取り組み、積極的に多様な方面への情報発信に動くことができたと感じている。

今回は結果的に teket でのチケットの完売がいつもに増して早く、また紙チケットの売れ行きも良かった。各 SNS の広報力は定かではないが、TWINS の掲示板をはじめとして何らかのデジタルな広報活動と、ポスターやパンフレット等の実地的な広報活動の相乗効果が良い結果に結びついたと考えられる。今後も新しい層に届く広報活動を目指し、新たな情報発信や広報活動についても新メンバーと協力しながら検討していければと思っている。

4-3 運営について

前回同様、フライヤー6000部、ポスター100部を印刷したが、ありがたいことにチケットが早々に完売したこともあり、フライヤーもポスターもかなりの余りが出てしまった。資金の適正化を図るためにも、今回はフライヤー印刷数の削減も検討したい。

当日はチケット管理者1名に負担が集中してしまい、席の重複や対応に手間取ってしまう場面が発生した。また、場内でのマナー周知が十分とは言えなかった。しかし、大枠としては予定していた進行に則って開催できた。

今後のより良い運営のために、主に以下の3点に改善の余地がある。

- ①チケット管理を手厚くする
- ②過去に実施してきた感染症対策（客席での歓声や演者への贈り物の禁止等）の対応を今一度考える
- ③英語も含めた事前・当日の案内の充実

今回のリサイクルから新入会の学生も多いため、そのぶんの人手も活用しながら次回のリサイクルに備えたい。

4-4 会計について

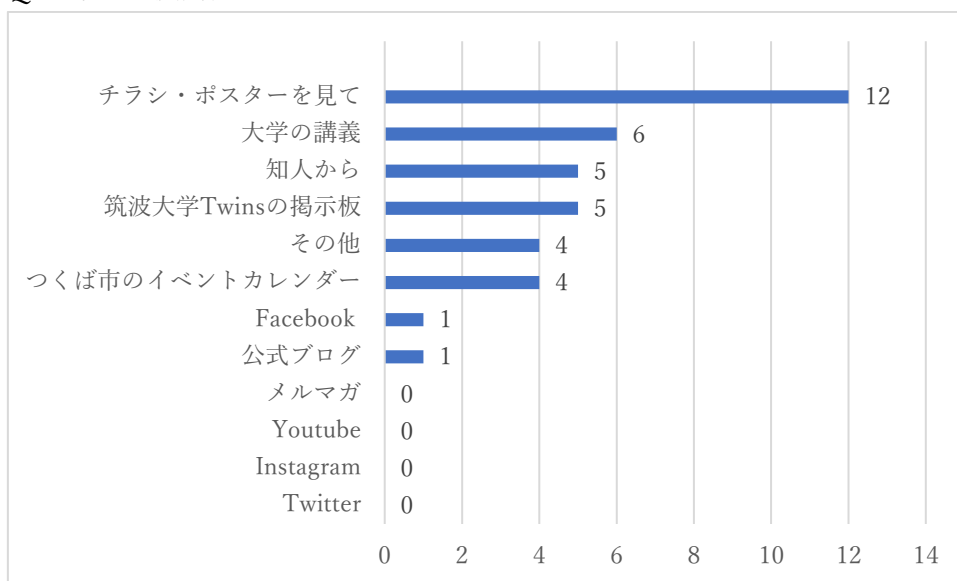
今回は一般チケットを値上げし、一枚¥1,500で販売した。teketでの販売数は学生席176枚、一般席111枚、車椅子席1枚となり、teketでの売り上げは、¥168,000となった。また今回は、ホールチケット25枚、当日券8枚、郵送チケット2枚の販売となり、これらの合計で¥47,400の売り上げとなった。さらに今回は、Googleフォームによる追加席の募集も行った。追加席の申し込みは16枚で、うち一般席は4席の申し込みがあったが、1名と連絡を取ることができなかったため、追加席の売り上げは¥4,500となった。追加席については、学生席の来場率が非常に悪かったため、何らかの対応が必要である。

助成金としては、社会貢献プロジェクトに採択され、¥180,000 の支援を受けることができ、「世界を変えよう基金」からも¥30,000 の支援をいただいた。クラウド・ファンディングでは目標の¥100,000 を超える¥120,000 の寄付をいただいた。

収入は計¥595,000 で、支出は計¥592,746 となった。余裕があったとは言えないが、かなり適切に資金を運用することができたのではないかとと思われる。

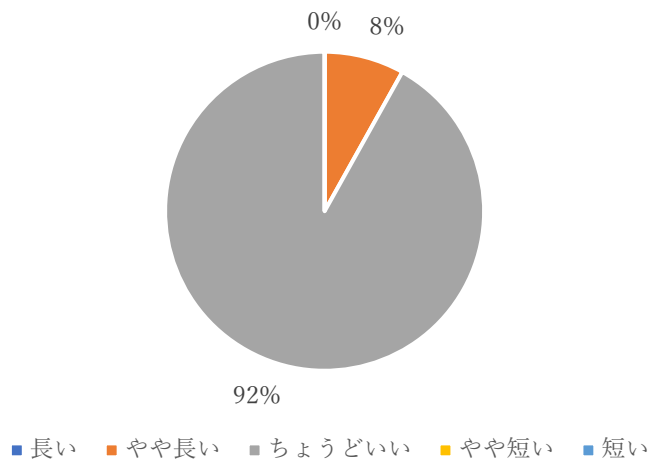
4-5 アンケート分析

Q1. 今回の演奏会をどのように知りましたか。

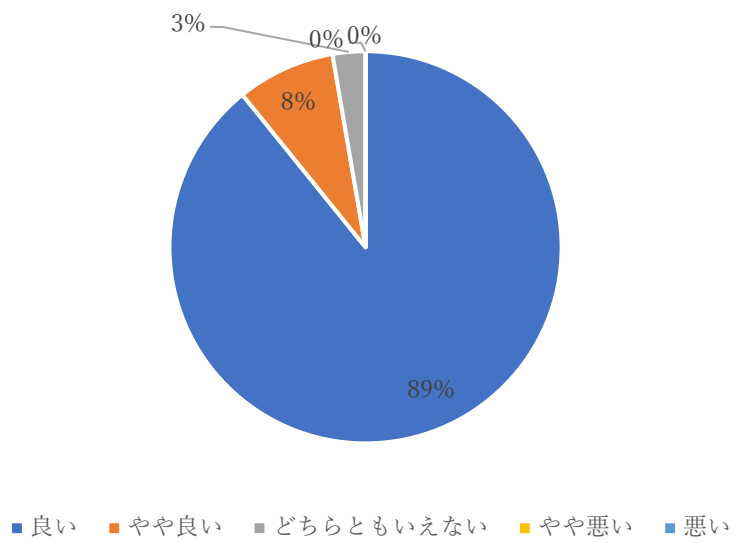


知人から、学内の宣伝（大学の講義、掲示板）、チラシ・ポスターからという結果が多かった。学内での呼びかけ、チラシ・ポスターでは効果的な広告成果があったと分かる。一方で、YouTube, Twitter, Instagram, Facebook といった SNS で演奏会を知った方は少ない結果となった。SNS 宣伝の効果が表れておらず、SNS の効果的な運用法を再度考える必要があるようだ。

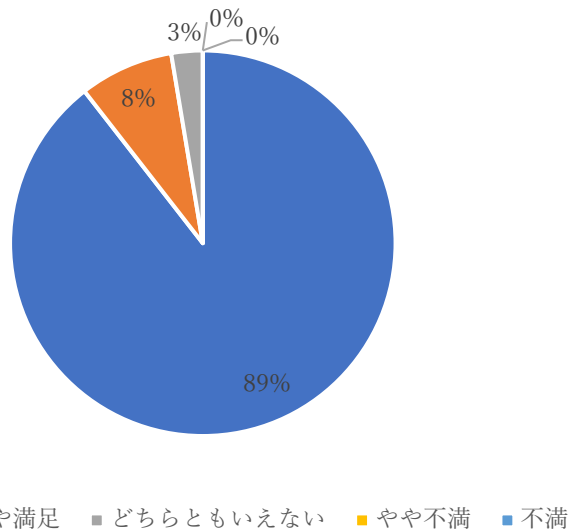
Q2 演奏会の長さはいかがでしたか。



Q2-2 演奏会の進行はいかがでしたか。

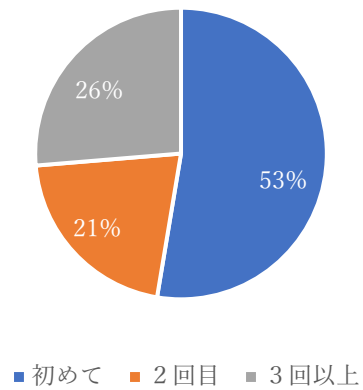


Q3 演奏会の全体的な満足度をお教えてください。

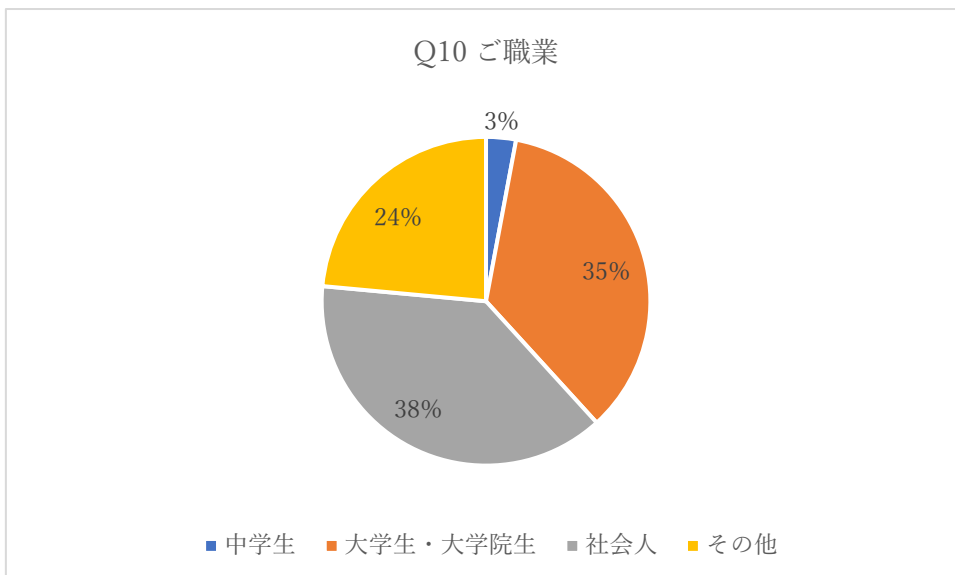
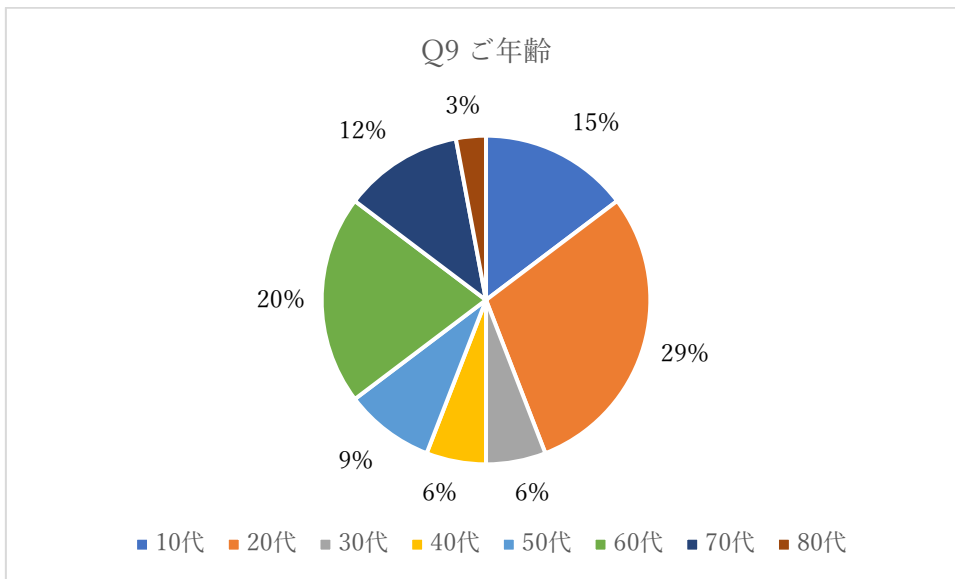


Q2、Q3 から、演奏会の内容（長さ、運営）は非常に満足度の高いものとなったことが分かった。

Q4 これまでつくばリサイタルシリーズにご来場されたことはありますか。



「初めて」と回答した方が多く、Q1 の結果と合わせて考察するに知人から演奏会を知り、初めて足を運んでくださった方が多かったのではないかと予測する。また、2回目、3回目以上の回答も多くあり、リピーター層も獲得できている。



Q9、Q10 の結果から分かる通り、年齢、職業共に様々な層からの来場があったと分かる。

5. 総評

第13回つくばリサイタルシリーズは、企画から本番まで大きなトラブルなく、比較的スムーズに運営ができたと感じている。また、チケットの過去最速ペースでの完売やアンケート結果などを踏まえても、全体的に満足度の高いコンサートになったと言えるのではないだろうか。

加えて、「4-2 広報について」で先述した通り、今回の演奏会に向けた取材活動には葵トリオの皆さんが積極的に協力してくださったこともあり、出演者インタビューやリハーサ

ル見学での取材内容を元に、幅広い広報コンテンツを発信することができた。こうした能動的な広報の姿勢も、チケットの早期完売やアンケートにおける満足度の高さの一助となったのではないかと考えている。

一方で、今回はコンサートの運営において改善すべき点が多く見つかった回ともなった。特に、演奏中に入退場の対応や動画撮影の禁止の徹底、注意事項の英語表記などはすぐに対処すべき点であり、次回以降はこうした反省点を活かし、さらにお客様に満足していただけるようなコンサート運営ができるよう、改善に努めていきたい。